

# ★ 市民自治フォーラム開催報告 ★

日時：平成 30（2018）年 3 月 22 日（木）午後 2 時～ 4 時 30 分  
場所：吹田市役所低層棟 3 階 研修室

## ～ 第1部 基調講演 ～



枚方市菅原東校区コミュニティ協議会会長の宮原保子さんをお迎えし、「地域の底力ってすごい！！」と題した基調講演をいただきました。

校区コミュニティ協議会とは、小学校区を基本に、月に一度、自治会など各種団体がお互いに情報交換をしながら、協働して校区内のさまざまな問題を解決していく場です。

菅原東校区では、月一回の定例会でいろいろな団体と日程調整などができ、地域の風通しがよくなったとのこと。最初は誰が会長になるかなどの問題がありましたが、地域活動には上も下もないと取り組む中で、委員から「今までの活動が地域のためになっているのか」との疑問の声が出て、住民アンケートを実施。その結果をもとに、NPO 法人すがはらひがしを立ち上げ、常設サロンの設置やボランティアによる送迎活動などを実現されました。ほかにも大学と協定を結んで一緒に防災活動をしたり、サッカーや英会話教室を開催したりして世代間交流を図っておられます。そうした成果として、子育て世代の方々が夏祭りを運営するなど地域活動を担う次世代の育成にもつながっています。

最後に宮原さんが、「きついことを言わなければならない時もありますが、活動をしているうちに、自分のまちや関係機関を知り、知り合いをつくるのはおもしろいと思いました。もうだめかと思いつつも、子ども食堂などができているということは地域の底力だと思います」と笑顔でおっしゃられたことが印象に残りました。

## ～ 第2部 ワークショップ ～

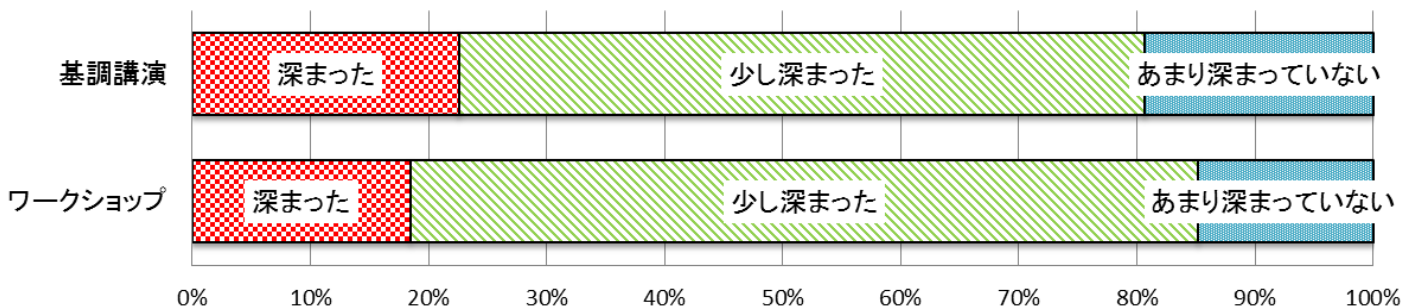
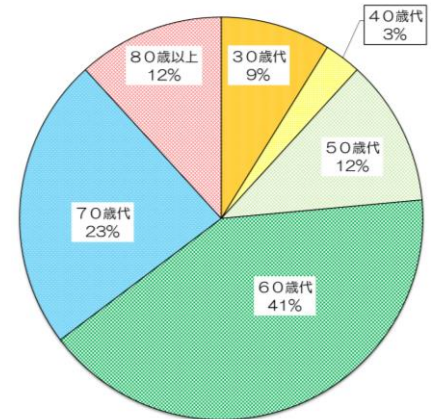
講演のあとは7班に分かれて「すいたの地域力を高めるために」をテーマに活発な意見交換を行いました。各班からは、地域力アップには「自治会の必要性を訴える」「役員の引き継ぎ時にネガティブな情報ばかりを流さない」「参加型イベントで地域の交流を図る」「自治会活動の楽しさを詳しく説明する」「自治会活動のメリットをアピールする」「活動したあとの反省と分析を行う」「呼び掛けをして興味を持ってもらう」などの意見が出されました（※市職員も一緒に参加しました）。



## ～ 来場者アンケート結果 ～

回収率 85.0% (34/40名)

- ① 回答した内訳は男性30名、女性4名でした。
- ② 回答した約8割が60歳以上でした（右表参照）。
- ③ 8割以上の回答者が基調講演及びワークショップを通じ、「すいたの地域力を高めるため」の理解が一定以上深まったと回答されました（下表参照）。



- ④ 「地域力を高める取組・事例集」の項目の中で、地域力を高めるため特に効果があると支持を集めたのは、「地域住民の誰もが集い、交流できる場をつくる。」「これまでの地域活動を見直す。」「企業や大学を含めた地域の諸団体で連携する。」「自治会役員の負担を軽減する。」でした。

上記以外にも、以下の取組が効果的ではないかとの自由記述がありました（一部抜粋）。

- ・地域に必要なことや住民の方が知りたいことを共有できるようにする。
- ・各地域で魅力をつくり、発信できる組織づくり。
- ・地域住民の顔がわかる活動（各団体が行う行事）を工夫し、参加者の増加を促す。
- ・大きい組織よりも小さいグループでお互いに一つの目的を気長に進める。

- ⑤ その他フォーラムに参加して、以下のような感想が寄せられました（一部抜粋）。

- ・地域の活動を具体的に知るいい機会になりました。
- ・他の自治会関係者との交流がよかったです。
- ・今後、このような地域活動をされている方や同志の交流の場を設けてほしいです。
- ・このようなフォーラムを多く開催されれば、おのずとよい市ができると思います。